

平成 27 年度
学校関係者評価報告書

平成 28 年 7 月

学校法人八文字学園



水戸電子専門学校

◆平成 27 年度 学校関係者評価報告書

学校法人八文字学園水戸電子専門学校は、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価をおこなっていただき、自己評価結果の客観性・透明性を高める努力をします。並びに卒業生、関係業界、専修学校団体・職能団体・専門分野の関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁・自治体の関係部局と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ります。学校関係者評価は、『専修学校における学校評価ガイドライン』に則って行うことを基本方針とします。

今後とも、この学校関係者評価の結果を踏まえ、学校関係者と連携・協力し、更なる教育の質の向上を図ってまいります。

1. 対象期間 平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

2. 学校関係者評価の項目（以下の 11 項目）

- (1) 教育理念・目的
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

3. 学校関係者評価委員

中井 英一	茨城大学理学部教授
島田 裕之	茨城大学教育学部教授
広木 公	株式会社 近宣 水戸支店 支店長（卒業生）
川上 典夫	川上陶器店（地域住民）
唐司 はるか	ケーズデンキ（卒業生）
武井 篤	株式会社 新日東 営業部
山田 真起子	介護福祉士（地域住民）
小澤 賢侍	公益財団法人 画像情報教育振興協会 教育事業部 セクションチーフ

4. 学校関係者評価について

(1) 自己点検・自己評価の実施

『専修学校における学校評価ガイドライン』に則って、平成 27 年度自己点検・自己評価を実施しました。点検項目は、平成 27 年度における「評価項目の達成及び取組状況」11 分類であり、『平成 27 年度自己点検評価報告書』には、各項目の自己点検実施状況を記載し、自己評価ポイント（適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）を示した。また、①課題、②今後の改善方法、③特記事項を記載し、学校関係者評価委員に提出しました。

(2) 自己点検・自己評価結果の報告

学校関係者評価委員会では、『平成 27 年度自己評価報告書』を用いて、学校関係者委員に対して、各項目の自己点検実施状況及び、自己評価ポイント、評価の根拠、課題、今後の改善方法等について説明した。

(3) 自己点検・自己評価結果の評価

学校関係者評価委員は、自己評価報告書 の内容及び、自己評価結果の評価方法を理解した上で、自己評価結果について自己評価ポイント（適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）の 4 分法にて評価を行い、その理由や意見を「学校関係者評価委員会 評価記入シート」のコメント欄に記載しました。最後に、評価項目や学校・学科の改善に関する学校関係者委員の自由意見を聴取しました。

◆ 1 教育理念・目的 3.86

- ・高度で実践的な知識と技術を身に付けた即戦力スペシャリストを育成するだけでなくやはり、社会人として必要な人間力の育成は重要です。
- ・高校教育から専門教育、大学教育の教育改革の展望が難しい中で、職業教育の位置づけと中長期的構想をぜひ立てていただきたいです。

◆ 2 学校運営 3.00

- ・教育理念、教育目標の実現のための運営方針や事業計画が策定されているものと判断できます。
- ・学校として組織の業務分掌の明確化や人事計画の策定など、組織の活性化を図る必要があります。
- ・学内の情報システムについては、公開サーバの構築やセキュリティ対策に力を入れる必要があります。

◆ 3 教育活動 3.29

- ・WEB上で卒業研究の成果を公開発信して考察してみてもどうか検討していただきたいです。

- ・制作については学生の実績や満足度を鑑みて、また教育効果から考えても完成まで制作してもらいたいです。
- ・IT 分野の技術は進歩も非常に速いので、業界の動向や企業のニーズを取り入れながら、常に新しい知識・技術を導入した授業を展開してほしいです。
- ・授業改善への取り組みとして、学生による「授業評価アンケート」を実施しているとのこと、わかりやすい授業に努めているところが評価できます。
- ・企業は人材の採用にあたってコミュニケーション能力やヴァイタリティを重視しています。
- ・教員の研修については、特に専門分野の最新技術や知識、指導力などの研修を積極的に実施してもらいたいです。

◆ 4 学修成果 2.86

- ・学生の就職率は 100%と高水準を維持しており、高い指導力が評価できます。
- ・情報処理の国家試験対策については、午前免除制度を利用し、十分な対策時間をとっているようなので、さらなる合格率の向上を期待したいです。
- ・卒業生の追跡調査などを嫉視して、意見や評価を把握し、教育改善に活かしていく仕組みを検討していただきたいです。
- ・退学率の低減の努力と欠席者に対する対応は理解できます。
- ・学力不足の学生に対する補講なども必要ではないでしょうか。

◆ 5 学生支援 3.14

- ・学生の就職活動をバックアップする支援体制が整っているようです。
- ・学生支援機構の奨学生制度を利用する学生の返済額の多さに対応する是正措置は講じているのでしょうか。

◆ 6 教育環境 3.29

- ・学校の教育設備、施設は教育内容に沿って十分に整えられています。
- ・新しい技術・メディアセンター施設・自習室や教育機器設備を導入してもらいたいのを検討していただきたいです。

・災害時の心構え・命をまもる行動など防災教育や地震等の災害対策として、定期的な防災訓練、被災時の水・食料の備蓄等も進めていただきたいです。

◆ 7 学生の受け入れ募集 3.43

・定員の充足率については、情報メディア学科については定員割れを起こしているがどのような広報活動を行っているのか。

・オープンキャンパスやバス見学会、高校ガイダンスなど非常に多い回数を計上しているが効果はあるのですか。

◆ 8 財務 3.86

・財務諸表を拝見すると、現在、安定した財務基盤のようです。

・監査法人の監査や内部監査が適正に行われており評価できます。

◆ 9 法令等の遵守 3.29

・法令や設置基準の遵守については適正に行われており、また、個人情報の取り扱い、管理については、より強化していただきたいです。

・自己評価結果についても、適切に公開しています。

◆ 10 社会貢献・地域貢献 3.43

・地域の方に支援していただくためにも社会的貢献は大切なことであり、積極的に地域にかかわりを持っていただきたいです。

・ボランティア活動は、学生が個別に実施しているようですが、組織的な取り組みはできないのでしょうか。

◆ 11 国際交流

(・留学生の受け入れは、行っていないし、国際的に提携している学校もありません。)

学校関係者評価委員会 評価結果報告書 総 評

学校関係者評価委員会を開催するにあたり、関係する企業、業界団体、卒業生、保護者、地域住民が評価委員の委嘱を受け、評価委員はそれぞれの立場から意見を述べました。

本委員会の目的は、自己評価の結果について、学校関係者による評価を行い自己評価結果の客観性、透明性を高める事です。そのことによる理解促進、連携協力によって学校運営が改善されることを期待しております。

まず、全体会については、時間の短縮が図られていた点で、問題点の洗い出しが明確になり、委員の皆様も評価し易かったのではないかと思います。ただ、時間が短縮された分十分な説明がなされていない項目もあったように感じましたので、次回は時間の適正な配分を検討していきたいと思います。

次に、自己評価の内容につきましては、かなり多くの項目で前回より改善されたと感じましたが、進捗状況が具体的に示されていない項目もあり、改善が必要な点もあったかと思えます。また、委員の皆様との意見交換では、「表現が曖昧で具体性に欠ける部分がある」や、「評価が 3 と 4 ばかりであるが、あえて 1 や 2 をつけることで更なる充実を目指すことも必要ではないか」などのご意見もありました。ただ、大半の委員の皆様からは、全体的に厳しい評価がなされており、評価も適切であるのご意見が多く出されており、私もそう感じました。

今後、学校の課題を解決するために、評価委員の意見を反映して頂くとともに、水戸電子専門学校及び専門学校全体の教育の質を高めるような取組みを継続し、実施して頂くことをお願いいたします。我々評価委員は、引き続き協力することをお約束し、学校関係者評価委員会評価報告書を提出するにあたっての総評と致します。

学校法人八文字学園 水戸電子専門学校
〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-11-20
